

# ごみ減量を考える講演会

東員町の各家庭から排出される“ごみ”は毎年6千トン以上で、その処理や再資源化に要する費用は年間4億5千万円以上（平成27年度）となっています。

私たちの生活から出るごみの処理には多額の費用を要し、町の財政を圧迫するだけでなく温室効果ガスの排出など、地球環境にも悪影響を及ぼしています。

しかし、ごみを出す私たち一人ひとりの意識を少し変えるだけで、ごみ処理費用や環境負荷は減らすことができます。

この講演会で、県内や町のごみ処理の現状、全国の先進事例や家庭から取り組むことができるごみ減量・3Rの方法を知り、ごみ減量を考える第一歩としてみませんか。

日時：平成29年1月29日(日)13時30分～

場所：東員町保健福祉センター ホール

## 第1部 「循環型社会の形成に向けて」

三重県環境生活部 廃棄物・リサイクル課

### 「岐阜県輪之内町の事例紹介」

浅野 かつ代 氏

NPO法人 ピープルズコミュニティ事務局長

## 第2部 「地域循環型野菜 おかえりやさいプロジェクトの取り組み」

岡山 朋子 氏

### 岡山 朋子 氏 プロフィール

大正大学 人間学部 人間環境学科准教授。

名古屋大学大学院環境学研究科修了。

博士（環境学）。

（NPO）中部リサイクル運動市民の会スタッフ、名古屋大学エコトピア科学研究所特任講師などを経て現職。

専門は廃棄物管理、循環型社会政策。

容器包装や生ごみ、小型家電、災害廃棄物の3R研究、災害時のトイレ研究、アジアの3R政策研究のほかピコ水力発電研究に取り組む。

名古屋を中心とした食品リサイクルの取組である「おかりやさいプロジェクト」のリーダーも務め、他地域への展開を目指している。



●主催：東員町 ●共催：NPO 法人生ごみリサイクル思考の会 ●後援：三重県

●お問い合わせ先：東員町 環境防災課 環境資源係 ☎0594-86-2807